

光連協

20年のあゆみ



光が丘地区住民組織連絡協議会



光連協 20年史発行にあたって

会長 高橋 司郎

過ぎて見れば20年という歳月は、人により様々な想いがあることでしょう。この世に生を授かり生まれてきた新生児は成人式を迎え、大人の仲間入りを果たします。

昭和61年(1986年)に15団体で発足した光連協も、今年で結成20周年を迎えました。「21世紀の夢の都市」と言われた光が丘ですが、他の団地と同様に高齢化が進み、光連協の結成にご尽力された方々のうち何人かは、残念ながら物故者となりました。また、転居などで光が丘を後にされた方々も少なからずいらっしゃいます。

こうした現状を鑑み、歴史の記録を後世に残すことは、現役員陣の責務と考え、今回の20年史発行に踏みきった次第です。

座談会では、光連協の結成に深く関わった初代幹事長や歴代会長にご出席を願ひ、それぞれの立場からお話を伺いました。また、「光が丘と光連協の歩み」では、 Grantハイツの時代から現在に至るまでのトピックを当時の写真とともに振り返ってみました。光が丘に暮らす私たちにとって、この20年史が豊かで暮らしやすい未来を築く一助になれば幸甚です。

座談会

光連協の20年を振り返る

野犬がはびこり

一人では買物にも行けない

至便で買物にも便利な住宅街へと発展しました。

まず小林さん。光

高橋 光連協も今年で設立20年を迎え、一つの節目の年となりました。

今では考えられないことですが、かつての光が丘は交通機関もなく、風が吹けば土煙が舞い上がる。買物に行こうにも近くに商店はなく、「これが21世紀の夢の住宅街か」と言われたそうです。しかし現在では、都内23区では最も自然環境に恵まれ、交通

連協の初代幹事長として当時のお話をお願いします。

小林 確かにおっしゃるような環境でした。私は最初に来た団地への入居でしたから、今では考えられないようなことが多々ありました。例えば、サラリーマンが深夜に帰宅し車から降りようとすると、野犬が吠えて飛びかかってくる。奥様方も怖

くて一人では買物にも行けません。そこで、当時の公団や区役所にいろいろ要望を携えて行くことになるわ

けですが、どこに行っても相手にされない。

そんなとき、たまたま私どもの「公園南住宅自治会」と「ゆりの木通り北自治会」との交流があって、お互いに情報交換したり、共通の問題で話し合ったりする機会を得たのです。やがて次第に仲間が増え、一つの組織として設立準備会から設立総会へと発展していきました。

高橋 交通や買物などは、みなさんどうしておられましたか？

小林 例えば、買物には車に相乗りして、ゆりの木通り北にあったスーパーなどに行っていました。何しろバスも通っていない陸の孤島でしたから。
高橋 バスを開通させるために大変



なご苦労があったようです。

小林 西武バスも国際興業バスも採算が合わないという理由で、それは難航しました。公団やバス会社に再三陳情し、交渉の末、やっと周辺の既存路線を変更してもらい、バスが通ることになったんです。しかし、そのため影響を受けた地域の町内会長からお小言をいただいたり、いざバスの乗り入れが決まっても、バス停の位置や名称でもめたりと、総論賛

成・各論反対の声も多くて苦労しました。

高橋 反対意見の中にはどのようなものがありましたか？

小林 バス停ができる建物と揺れるとか、家の中をのぞかれるとか(笑)。

高橋 それでどうされましたか？

小林 公団と交渉して大きな木を植えてもらいましたが、逆に今では大きくなり過ぎて、毎年剪定に苦労しています。

論客が多く

まるで国会議員になった気分

会」、略して「光が丘連絡協」でした。

矢沢 当時、加入団体の数はいくつでしたでしょうか？

辻 ところで小林さん、最初は「光が丘連絡協」という名称でしたが、それはどんな理由からですか？

小林 各自治会と管理組合は、それぞれ独立した団体であって、しかも都営住宅・住宅供給公社・都市公団と交渉する相手も違い、分譲・賃貸と分かれているので「ミッド型の組織にはなり得ません。お互い共通する問題について情報を共有する、そのための組織」ということで考えついたのが、光が丘地区住民組織連絡協議

小林 15団体でスタートしましたね。

高橋 スタートにあたり、ご苦労なされたことなど、思い出に残るお話があれば……。

小林 とにかく苦労の連続です。論客が多くてね。国会議員になった気がしましたよ(笑)。特に規約作りは大変でした。

高橋 わかるような気がします。

小林 みなさん初めてお目にかかる人ばかりで、職業も考え方もわから

ない。それに光が丘のように都営・公社・公団の住宅があって、しかも分譲・賃貸と混在しているような大型団地は、日本では極めてまれであることも関係しました。勉強の素材・お手本がなかったんです。

竹谷 あらためて小林さんを始めとした先駆者の方々のご苦労を知り、感激いたしました。

小林 私はこれまで多くの団体の設立に携わってききましたが、「光が丘連絡協」は本当に思い出に残る一番骨が折れたものの一つでしょう(笑)。

高橋 奥様方の最大の関心事は、何といても買物の便をどう確保するかでしょうが、これに関しては何かございましたか？

小林 大型商業施設IMAの誘致は大きな懸案事項でした。人口規模から考えて大型施設の必要性があったのですが、一方では地元の商店連合会を中心にした思惑もあった。要はどう協調し、融和させていくかの問題でした。しかも当時は大型店舗の出店規制が厳しい時代でしたから、請願に対する区議会の表決が二分したほど、意見の対立があったことは事実です。でも結局は、落ち着くところに落ち着き、現在の姿になりました。

高橋 光が丘を陸の孤島から解消させる手段として地下鉄12号線の開通が挙げられますが、これに関しては？

小林 先のバス停のときといっしょで、総論賛成・各論反対です。反対意見の多くは残土運搬に関わる問題でした。結局、都の第四工事務所と交渉して、ダンプカーは残土をすべてシートで覆い、速度制限を厳守するということでした。

辻 この街にとって画期的なことでしたね、地下鉄の開通は。



2005年10月、光が丘区民センターにて

第一ホテルの誘致は

雑誌の記事をヒントに

高橋 「光が丘連絡協」発足の翌年には、早くも新年祝賀会を開催されましたが、当時の思い出は？」

小林 新年祝賀会は対人関係を作り上げる手段の一つでしたが、何しろ予算がない。そこで最も安い会場を借り、手作りの料理と出前で済ませました。もちろんセッティングは全員で。喫茶店に10回行って10時間おしやべりするより、1回お酒を飲んで1時間おしやべりする方が効果があったりするんですよ。

辻 当時はまだ、第一ホテル(現・ホテルカデンツア光が丘)もなかったですからね。

小林 第一ホテルは、実は私が働きかけて誘致したんですよ。これまで誰



小林 秀自さん

光が丘5丁目在住。
初代光連協幹事長(1986年)

にもお話ししませんでした。雑誌の記事をヒントに話をもち込みましたね。光

が丘の住宅はどこも居住家族数に合わせたものなので、お客さんが来ても泊められない。かといって、宿泊設備だけでは採算性に問題があるから、

足掛け6年に及んだ

パチンコ店開店騒動

高橋 話は変わりますが、光連協20年の歴史をひもとくとき、「パチンコ

店出店問題」は避けて通れません。辻さんはこの問題で、「光が丘にパチンコ店はごめんだ住民会議」の副会長として活躍されたわけですが……。

辻 その会議の会長Sさんが当時、大通り中央1号棟にお住まいで、孤軍奮闘で反対運動を展開しておられたので、私も何かとSさんをサポートさせていただきました。

そもそも私たちはパチンコ店が悪だとか、射幸心をあおるから反対などとは一言も言っていないんです。じゃあ一体何に反対したのか。それ

結婚式場や大型宴会施設、レストラン機能を充実させれば良いのではなにかと口説きました。経営はその道のプロに任せ、家賃収入を得るようにしたらどうかと、アイディアを提供したんです。

一同 それは知らなかった。先見の明ですね。

は、当時の公団が入居説明会の際に住民に対して、「あそこにパチンコ店は絶対開店させない」と明言したにもかかわらず、パチンコ店の開店を認めようとしたからなんです。

結局、足かけ6年に及ぶ騒動でしたが、あの棟の自治会加入率は90%を超え、また光連協でも住宅環境保全の観点から問題意識が高まり、組織の結束へとつながったのは結果として良かったですね。

高橋 山影さんもその間、副会長、そして会長として反対運動に携わられましたね。

山影 いや、私は辻さんほど最初から関わってはいません。むしろ最後の後始末ですね。私が副会長になっ

たのは平成6年で、公団とパチンコ店との特別契約期限である5年間の最後の年でした。光連協としても住宅街のご真ん中にパチンコ店が進出して来るわけですから、当然議題に取り上げました。しかし、光が丘は面積も広く、関心度には温度差があった。住民運動の当事者が居住する大通り中央1号棟や光が丘にパチンコ店はごめんだ住民会議のメンバーと、無関心派との確執もありました。

結局、表決の結果は、大多数の加盟団体が「出店反対」に同意したものの、1団体は条件付きの出店賛成。当時の会則の定めによって、「光が丘連絡協」としてまとめることはできませんでした。

辻 そつでしたね。

山影 公団の説明は、「商業施設としての契約しかしていない」の一点張り。5年間の買い戻し期限が切れ、即パチンコ店が開店したのにはびっくりしましたね。また、公団からも口頭説明ばかりで、まともな回答書を受け取った記憶もない。

辻 その通りです。情報をきちんと公開することがいかに大事かということですよ。

阪神・淡路大震災をきつかけに 「避難拠点運営連絡会」が発足

等を常備しておき、さらに住民主体の運営組織を立ち上げて日頃から訓練しておけば、大地震発生という最悪の事態にも備えることができるという、まさに「備えあれば憂いなし」の発想ですね。

高橋 山影さんが副会長のとき、阪神・淡路大震災がありました。その教訓から練馬区の地域防災計画の全面見直しがあり、その結果として、避難拠点運営連絡会」の制度が誕生します。しかし光が丘地区では、連絡会立ち上げの理解を得るのに大変だったようですが……。

高橋 光が丘では、それぞれの自治会や管理組合が自主的に防災組織を立ち上げ訓練していたので、行政サイドから提案されてもすぐには……。

山影 練馬区の対応は、他の区に比べ確かに早かった。光が丘地区もそうですが、従来の考え方は広域避難場所へ、とにかく広い場所に避難しろという発想でした。しかし現実には、交通機関もダメ、道路も破損という状況じゃ、一カ所に集まれといつても無理な話です。そこで、区内103校の小・中学校を第一次避難拠点にして食料や飲料水、救助備品

山影 確かに少し遅れましたかね。制度の導入が平成8年で、最初は光一小でした。でも2年間会議を開かなかつたので、実際には光八小が早かつた。

矢沢 むつみ台では、第7期の総会を今年6月に終えたので、活動開始は平成10年からです。

山影 最初に立ち上げたのは光一小ですが、光八小に抜かれた。ある会で区の防災課長に会ったとき、山影さん、103校のうち73校が活動を始めましたよと言われ、あわてて神輿を上げたんです。結局2年遅れましたが、それから45回の会合を持ちましたよ。

高橋 スタートが行政主導だったので、いろいろ問題もあつたようですね。



辻 弘さん

光が丘3丁目在住。
第6代光連協会長（1998～99年）
現在、光連協「自転車問題専門委員会」委員長。

山影 最初はそうでした。しかし、「自分の身は自分で守る」の信念がやがて住民主導へと変わっていった。

辻 行政主導から住民主導にならないうまく行かないからね。

高橋 記録によると平成10年ですね「運営は地域住民を主体とし、行政は必要に応じて支援する」とマニュアルに明記されたのは。

辻 不謹慎だけど、一番いいのは一度光が丘がぐらつと……（爆笑）。

山影 大地震でも建物は大丈夫ですが、しかし、光が丘は都の広域避難場所に指定されているので、外部から大勢の被災者がやってくる。むしろ考えておかなければならないのは、そうした避難民の問題ですね。

高橋 行政サイドもその点は考えているようです。避難拠点のあり方も含めて光が丘地区と他の地域との違いに関しては、現在光連協からボールを投げ、行政サイドで検討中です。

ところで、山影さんの会長時代に規約を改正し、「光が丘連絡協」から「光連協」と略称が変更されました。この辺の事情は何か？

山影 それはむしろ、当時副会長だった辻さんの発想ですよ。

辻 正式名称の「光が丘地区住民組織連絡協議会」ではあまりにも長すぎるし、「連絡協」では単なる住民同士の横の連絡機関としか見られかねない。そこでいろいろ考えた結果、「光連協」とすることにしました。これだと外部の人にもわかりやすいし、我々も使いやすい。単なる連絡機関ではなく、「行動する組織」として理解してもらえますしね。



山影 信雄さん

光が丘5丁目在住。
第5代光連協会長（1995～97年）

歴代の光連協会長

初代	(1986年)	中森和明(故人)
第2代	(1987年)	山内完一(故人)
第3代	(1988～91年)	植原貞夫(故人)
第4代	(1992～94年)	福間健節(転居)

(敬称略)

自転車の不法駐輪は

最初の都市計画に問題あり

高橋 辻さんが会長に就任後、地下鉄12号線が新宿まで開通し、便利になった反面、駅周辺には自転車の不法駐輪が急増しました。

辻 当時は竹谷さんが副会長、そして事務局長でして、この問題には二人で取り組みましたが、まだ一部しか解決していません。それは、区の夏の雲公園から都の光が丘公園までの一本道が、実質的な道路であるにもかかわらず公園の一部になっているため、道路交通法では取り締まれないことに原因があります。しかも、光が丘IMA、地下鉄、区民センターなどの出入口がすべてこの公園道に面している。つまり、最初の都市計画に問題があったわけです。

高橋 「光が丘駅自転車対策連絡会」を立ち上げた経緯というのは？」

竹谷 不法駐輪問題は長い歴史がありましてね。光連協の一部門組織として、「自転車問題専門委員会」をまず立ち上げて区の担当者との会議を持ったり、実態調査をして写真に収めたりしながら、一方では趣意書で区長への要請を行いました。その結果、区の関係

者、警察、都交通局、公団、都第四建設事務所、ショッピング施設関係者、そして光連協が一堂に集まり、協議機関である「光が丘駅自転車対策連絡会」が誕生したわけです。

「連絡会」ではクリーンキャンペーンの実施と合わせて、区への働きかけを強めた結果、駅前の都道は練馬区条例によって自転車放置禁止区域に指定され、取り締まりの対象となりました。これは大きな成果です。

光連協が大きな役割を果たした

CATV導入問題

高橋 辻さんは自転車の問題とあわせて、落書き問題でも大変なご苦労があったようですが。

辻 あれも当時は大変でした。落書きを消すためのペンキを区からもらってきても、なかなか色が合わず、結局自分で賄って……。ローラー等の消耗品もありましたからね。ズボンやTシャツも随分ダメにしました。ボランティアも何かと大変です(笑)。

辻 その後、大江戸線の全線開通によって駅利用者が大幅に増えたり、駅前の都道部分を規制したことによって、今度は区民センターからリビングの前までの公園道に自転車があふれるようになってしまったんです。

竹谷 この自転車問題に関しては、TVでも放送されましたね。私も出演したのですが、いまだ全面解決には至ってません。「連絡会」のメンバーに新たに都建設局東部公園緑地事務所と都公園協会が加わったのは、一歩前進ですが……。

高橋 竹谷さんの会長時代は、CIS即ち有線情報システムの更新問題や「COM導入問題など、専門知識をかなり要する問題に直面したようですね。」

竹谷 光が丘のキャッチフレーズは「21世紀の新しい街」。電柱のない街並みやファイバーの敷設など先進的な部分もありましたが、CATVに関しては周辺地域に完全に立ち遅れました。当然、住民からの要望は高まりますよね。そこで、当時の事務局長が中心となって、公団と折衝



竹谷 恭子さん

光が丘5丁目在住。
第7代光連協会長(2000~02年)、
その後、事務局長として05年6月
まで活動。

を重ねたのですが、「COMの導入という一つの方向性が出るまでに1年半もかかりました。このとき痛感したのは、専門知識の必要性です。特に分譲住宅では、費用をどう負担するかという問題がありますから。」

結局、「メディア問題専門委員会」を立ち上げ、光連協役員のEさんに委員長をお願いしたのですが、それはもつびくりするほどのスピードと精力的な活動で問題解決にあたってくださり、この問題をクリアしていただきました。本当に感謝しています。

辻 これは光連協の一つの功績であり、今後の活動の指針になりますね。

竹谷 本場にそつ思います。

高橋 話題は変わりますが、矢沢さんの会長時代には、「基本問題検討委員会」を立ち上げ、今後の活動のあり方にメスを入れられましたね。

矢沢 これまでのお話でも出てきたことですが、最初は横のつながりを



矢沢 吉人さん

板橋区赤塚新町在住。
第8代光連協会長(2003~04年/
04年8月で退任)

作り、情報を共有しようという「連絡会」だったわけですが、防災や自転車問題など、次第に生活に密着した活

動の必要性が出てきました。いわゆる「衣替え」ですね。そこで、規約の改正を含め、いろいろな問題を専門的に検討していくための機関を立ち上げたんです。それが「基本問題検討委員会」でした。最終的には現会長に引き継ぎましたが……。

の両方がある。それが光連協という一つの傘の下で活動している。そうした立場の違いを越えて住民同士が連携してゆくには、できるだけ多くの人たちに参加を求めてゆく必要があります。また、専門分野の問題解決に関しては必要に応じて「専門委員会」を立ち上げ、一つ一つ地道に解決していく努力が求められます。メディア問題は、その一つの好例でしょう。

の「ふるさとを創る専門委員会」の活動に期待します。
また私自身、区のまちづくり条例検討委員会の委員をしており、そこでの議論の経緯等から考えますと、将来、建物の老朽化の時期には光が丘地区全体の「まちづくり再構築」を含む建て替え問題も浮上してくるでしょう。今後の光連協の活動にも大いに期待したいと思います。

「こつが」ふるさとと光が丘」と

胸を張れる街づくりを

高橋 では最後に、お一人ずつ今後の光連協の活動に期待することや、後輩へのアドバイスなどがありましたらお願いします。

道やエレベーターが止まってしまった場合に、食料や飲料水の補給をどうするか
が問題です。区から提供され、防災格納庫に入っている担架も階段では使えません。災害への対策も光が丘方式があつていいはずですよ。

私は緑豊かで電柱のない光が丘が大好きなんです。「終の住みか」とさえ考えています。だから、自転車の不法駐輪やマナーをわきまえない無謀運転、ごみの散乱など、この街を汚す行為が許せないんです。したがって光連協に望むのは、こうした問題に真剣に取り組み、行動してもらつことです。議論ばかりしていて、その実、何もしない光連協であつてはならないと感じています。

私がお忙しいところ、本当にありがとうございます。

小林 地域住民に密着した活動は大切ですが、例えば避難拠点運営連絡会の活動などは、周辺戸建て住宅や

また、給湯や暖房の熱供給料金にしても、高いという声が多く聞かれます。こつとした生活密着型の問題に一つ

竹谷 私は初の女性会長をさせていただきます。ただりましたが、数年前のアンケート調査では、多くの子供たちが「光が丘が好き」と答えていました。その理由として、10歳の男の子は、自分はここで生まれたから」と言っています。

光が丘3丁目在住。現第9代光連協会長。2004年8月から会長代行。05年3月に会長に就任し、現在2期目。

帰宅困難者への対策としては有効であつても、光が丘の住民にとってはあまり意味がない。建物が倒壊する可能性が極めて低いとなれば、みなさん自宅で暮らしますよ。むしろ水

一つ取り組み、解決していく。それが今後の光連協の課題だと思えますよ。
山影 光が丘団地はある意味で異色ですからね。都営・住宅公社・公団(現・都市機構)があり、分譲・賃貸

光が丘3丁目在住。現第9代光連協会長。2004年8月から会長代行。05年3月に会長に就任し、現在2期目。



高橋 司郎 司会

光が丘3丁目在住。
現第9代光連協会長。2004年8月
から会長代行。05年3月に会長に
就任し、現在2期目。



終戦前の成増陸軍飛行場
(昭和18年)

光が丘の歴史と光連協の生い立ち

戦前・戦後 ～1985年



昭和19年に撮影された成増飛行場の航空写真



飛行機の残骸が散乱する終戦直後の成増飛行場



笹目通りもすっかり様変わりした(同じ場所で写した昭和30年頃と平成9年時の笹目通り)

光が丘の歴史

(黒い文字)

光連協の生い立ち

(赤い文字)

社会の出来事

昭和18年(1943)

陸軍飛行場建設で強制立ち退き

日本に返還前の
グラントハイツ

昭和20年(1945)

米軍が飛行場を接收

昭和21年(1946)

昭和23年(1948)

グラントハイツ完成

昭和43年(1968)

米軍が返還することに同意

昭和50年代まで残っていた飛行機格納庫の跡

昭和44年(1968)

グラントハイツ全域を光が丘1番地と命名

昭和47年(1972)

東京都・練馬区・板橋区・住宅公団・都住宅供給
公社による「グラントハイツ跡地開発会議」発足
第一次返還の開始(現むつみ台周辺)

昭和48年(1973)

むつみ台団地完成、入居始まる

第二次世界大戦で日本敗北、降伏文書調印

日本国憲法公布(翌5月3日施行)

極東軍事裁判でA級戦犯に判決

小笠原諸島が日本復帰、GNP世界第2位へ

東名高速道路全線開通

東大安田講堂事件

沖縄復帰により沖縄県誕生

田中角栄、「日本列島改造論」を発表

日中共同声明調印

第一次石油ショック。洗剤やトイレト
ペーパーが店頭から姿を消す

昭和52年（1977）

光が丘団地の住宅規模12,000戸、42,000人で合意
田柄三小開校

日本人の平均寿命が世界最高に
（男72.6歳、女77.9歳）

昭和56年（1981）

光が丘住宅団地建設開始

中国残留孤児初の来日

昭和58年（1983）

光が丘住居表示変更で1丁目～7丁目と現行表示
公園南、ゆりの木通り、都営第一で入居開始
光一小開校

東京ディズニーランド開園

昭和59年（1984）

練馬区光が丘出張所開設
一部路線バス運行開始
光四小、光一中、光四中開校
一部有志による協議会設立

グリコ・森永事件発生

三浦和義被告による「ロス疑惑」が世間を騒がす

昭和60年（1985）

光三小、光七小開校
第1回準備会に10団体参加

NTT・JT(日本たばこ産業)が発足
日航ジャンボ機が墜落、520人が死亡



初期の頃の入居募集パンフレット



造成前のグラントハイツ（昭和48年）



昭和58年頃の光が丘パークタウン全景

光が丘の歴史を知ることは大きな喜び

東京都立光丘高等学校主幹 加藤 竜吾

光が丘地区住民組織連絡協議会創立20周年、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私は、光丘高校を第4期で卒業しました。在学中、グラントハイツ跡地を通学した記憶は、今でも脳裏に鮮明です。卒業後20年、幸いにも母校最初の教諭として勤務することができました。在職中、造成中までの光が丘しが覚えていない私にとって、グラントハイツ時代、成増飛行場時代、そしてそれ以前の光が丘の出来事を知ることは楽しい日々でした。特に子どもの頃の記憶と合致することを見つけたときは、大きな喜びでした。歴史に埋もれ、まったく知られていないことの多くも発見しました。こうして出来上がったのが200ページに及ぶ「光が丘学」です。

「光が丘学」はある種の負の遺産ですが、幸いにも都立光が丘公園とその周辺には、歴史を物語る遺物が現在もたくさん残っており、多くの地域ボランティアの方々に支えられています。

ぜひ、休日などには「光が丘学」を片手に地域の歴史を再発見されてください。

昭和57年、東京都立光丘高等学校卒業。昭和63年より東京都立高等学校の数学科教諭として教壇に立ち、平成12年より東京都立光丘高等学校教諭、同16年より同校主幹、現在は東京都教育庁指導主事を歴任している。平成13年に光が丘地域の歴史、文化、現在の課題などをまとめた「光が丘学」を刊行し、東京都立光丘高等学校公開講座「光が丘学」も実施している。

1986年 ～1995年



団地の建設と並んで、光が丘公園の整備も進む



建設中の光が丘区民センター
(昭和62年頃)



昭和61年に開院した練馬医師会立
光が丘総合病院(現・日大病院)



現在の光が丘地区区民館の場所に暫定的にオープンした商業施設

光が丘の歴史 (黒い文字)

光連協の生い立ち (赤い文字)

社会の出来事

昭和61年(1986)

都営地下鉄12号線着工
練馬医師会立光が丘総合病院(現・日大病院)開院
光五小開校
設立総会開催。15団体が加盟し「光が丘連絡協」発足

待望の大型商業施設IMAが
オープン(昭和62年)



三原山大噴火

昭和62年(1987)

大型商業施設光が丘IMA完成
光二小、光二中開校
初の新年祝賀会開催
加盟19団体へ



光が丘公園内に開館した花と
みどりの相談所(昭和62年)

国鉄の分割民営化でJR6社発足

昭和63年(1988)

光三中開校

昭和天皇崩御
消費税3%の導入

平成元年(1989)

光八小開校
光が丘区民センター、光が丘消防署開設
昭和天皇崩御で新年祝賀会を新年交流会と名称変更
加盟24団体へ
大通り中央1号棟でパチンコ店出店問題浮上

平成2年(1990)

光が丘警察署開設
光六小開校
加盟26団体へ

大学センター入試、第1回試験実施

平成3年（1991）

光が丘郵便局開設
都営地下鉄12号線、練馬まで暫定運行開始
パチンコ店出店問題正式議題へ、
区議会宛ての陳情書提出

平成3年12月、都営地下鉄12号線が練馬まで開通



徳仁皇太子、立太子の礼
雲仙普賢岳噴火、火砕流による死亡災害発生

平成4年（1992）

最後の団地である大通り中央2・3号棟完成、入居開始
人口42,000人でピークに
規約一部改正で、同一役職3年が限度に
パチンコ店出店反対を確認

平成5年頃の光が丘全景



自衛隊のPKO部隊、初の海外へ
小・中・高校で週5日制導入(第2土曜日)

平成5年（1993）

パチンコ店出店反対要望書を区長・区議会・住都公団に提出

プロサッカーJリーグ開幕
皇太子夫妻ご成婚

平成6年（1994）

光が丘地区区民館、光が丘体育館開館
幹事会でパチンコ店出店問題、反対決議をめぐり投票の結果、
全員一致に至らず住都公団に投票数字のみ報告



関西国際空港開港
バブル崩壊で大不況期へ突入

平成7年（1995）

光が丘図書館開館
光が丘公園内に平和記念碑建立
パチンコ店出店問題、買い戻し特約期間満了で終止符
定時総会で声明文を採択し、公団・パチンコ店代表者へ送付

平和記念碑の完成セレモニー
(平成7年)

阪神・淡路大震災
地下鉄サリン事件、オウム真理教教祖・麻原彰晃逮捕
外為市場で1ドル75円台の市場最高値



建設中の光が丘中央図書館（平成6年）



平成6年4月に開館した光が丘体育館



光が丘公園内に平和記念碑が完成(平成7年)

これからの光連協に期待すること

ゆりの木南管理組合理事長 遠藤 玄声

光連協20周年おめでとうございます。過去の先輩が築かれた貴重な歴史と資産をぜひ発展させていきたいと思えます。

光連協は、団地の管理組合や自治会の代表者が母体であり、団地の共通な課題を解決するというしっかりした動機付けがありますが、一方で各役員は母団体の役員改選によって継続性が極めて困難な状況です。光連協に以前から存在していた「管理組合部会」も長らく活動が停止していましたが、平成17年9月より活動を再開しました。

光が丘も20年を超えて大規模修繕の課題がありますし、高齢化に対応したバリアフリー、生活の多様化に伴うゴミやペットの問題など、団地相互に横断的にノウハウを共有するニーズがたくさんあります。また、光が丘を都内でも有数な魅力のある街にするために、光連協がリーダーシップを発揮する機会も数多くあることでしょう。

今後はこうした多様なニーズやテーマに応じて、少数の役員の活動だけではなく、多くのボランティア市民が主体的に参加できる形態へと進化させたいと考えています。

1996年 ～2005年



練馬区独立50周年記念の夏季巡回ラジオ体操会（平成9年）



落書き防止キャンペーンでは、中学生も落書き消しに参加(平成12年)



避難拠点運営連絡会主催の防災訓練（光六小・平成17年）



大通りの歩道にあふれていた自転車も、駐輪施設の完成と区の規制によって減少傾向に（光が丘IMA前）

光が丘の歴史 (黒い文字)

光連協の生い立ち (赤い文字)

社会の出来事

平成8年（1996）

避難拠点運営連絡会制度導入
10周年祝賀会開催、加盟35団体へ

薬害エイズで逮捕者
携帯電話が急速に普及し始める

平成9年（1997）

都営地下鉄12号線が新宿まで開通
規約改正で略称が「光連協」へ
不法駐輪問題で「自転車問題専門委員会」立ち上げ(別掲参照)

介護保険制度導入

平成10年（1998）

避難拠点運営連絡会立ち上げる

平成11年（1999）

光が丘駅周辺を自転車放置禁止区域に指定
区・警察・光連協三者で落書き防止キャンペーン

日の丸・君が代を国旗・国歌と法律で制定
茨城県東海村で日本初の原子力臨界事故

平成12年（2000）

都営地下鉄12号線全線開通、名称が大江戸線に

三宅島で大噴火、全島民避難

平成13年(2001)

区営駐輪場有料化で不法駐輪問題が新たな展開へ
管理組合部会「大規模修繕問題」で初の勉強会開催

新年交流会を兼ねて光連協15周年記念
パーティーを開催(平成13年)



日米開戦60年の集い、各地で開催
狂牛病発生で食の安全確保が重大問題へ

平成14年(2002)

CIS設備の更新、CATV導入問題で
新たな課題浮上



防災の日に、都と練馬区が
合同で大規模な防災訓練
を実施(平成14年)

江戸開府400年
銀行再編が加速
拉致被害者5名、24年ぶりに北朝鮮から帰国

平成15年(2003)

東京都がヒートアイランド対策
で大規模植栽(大通り中央)
「メディア問題専門委員会」立ち上げ
今後の活動のあり方を検討するため、
「基本問題検討委員会」立ち上げ



地上デジタル放送が一部地域で始まる
道路公団民営化の骨格決定
東証株価平均パブル崩壊後の最安値
7,700円台を記録

平成16年(2004)

ホームページ立ち上げ

新潟県中越地震、インド洋沖大津波等、
自然災害多発

平成17年(2005)

規約改正で「行動する光連協」へ
光連協20年史発行を決定

原油価格、史上最高値へと高騰
郵政民営化法案成立

今なお解決を迫られている 放置自転車問題

平成9年(1997年) 都営地下鉄12号
線の新宿までの開通で始まった光が丘
駅周辺の放置自転車による不法駐輪問
題は、いまだ解決できずにいますが、
この間「光連協」としても様々な活動を
続け、現在に至っています。

- 平成 9年(1997) 自転車問題専門委員会を設置
- 同 10年(1998) 光が丘駅自転車対策連絡会発足
- 同 11年(1999) 延べ20回に及ぶクリーンキャンペーンを光が丘駅前で行い、現在も継続中
- 同 12年(2000) 練馬区自転車利用総合計画で駐輪場の計画的整備と地域別目標を公表(光が丘での目標3,350台)
- 同 13年(2001) 駐輪施設の有料化で新たな問題発生へ
- 同 14年(2002) 第3駐輪場(IMA1階都道)の開設で駐輪場の収容能力は3,282台と長期計画の97.9%へ
- 同 16年(2004) 新たな駐輪施設の建設に向け、東京都と練馬区が協議を継続、現在に至る

この素敵な町を子供たちの故郷として

いちょう通り東第一団地管理組合前理事長 阿瀬見 宏

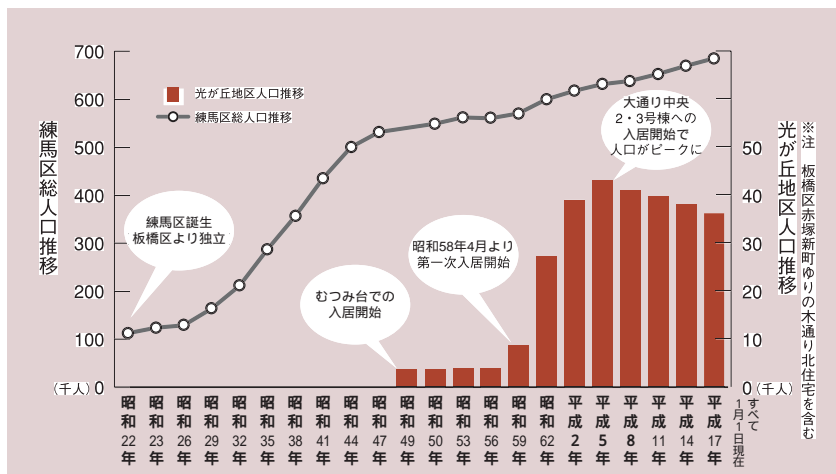
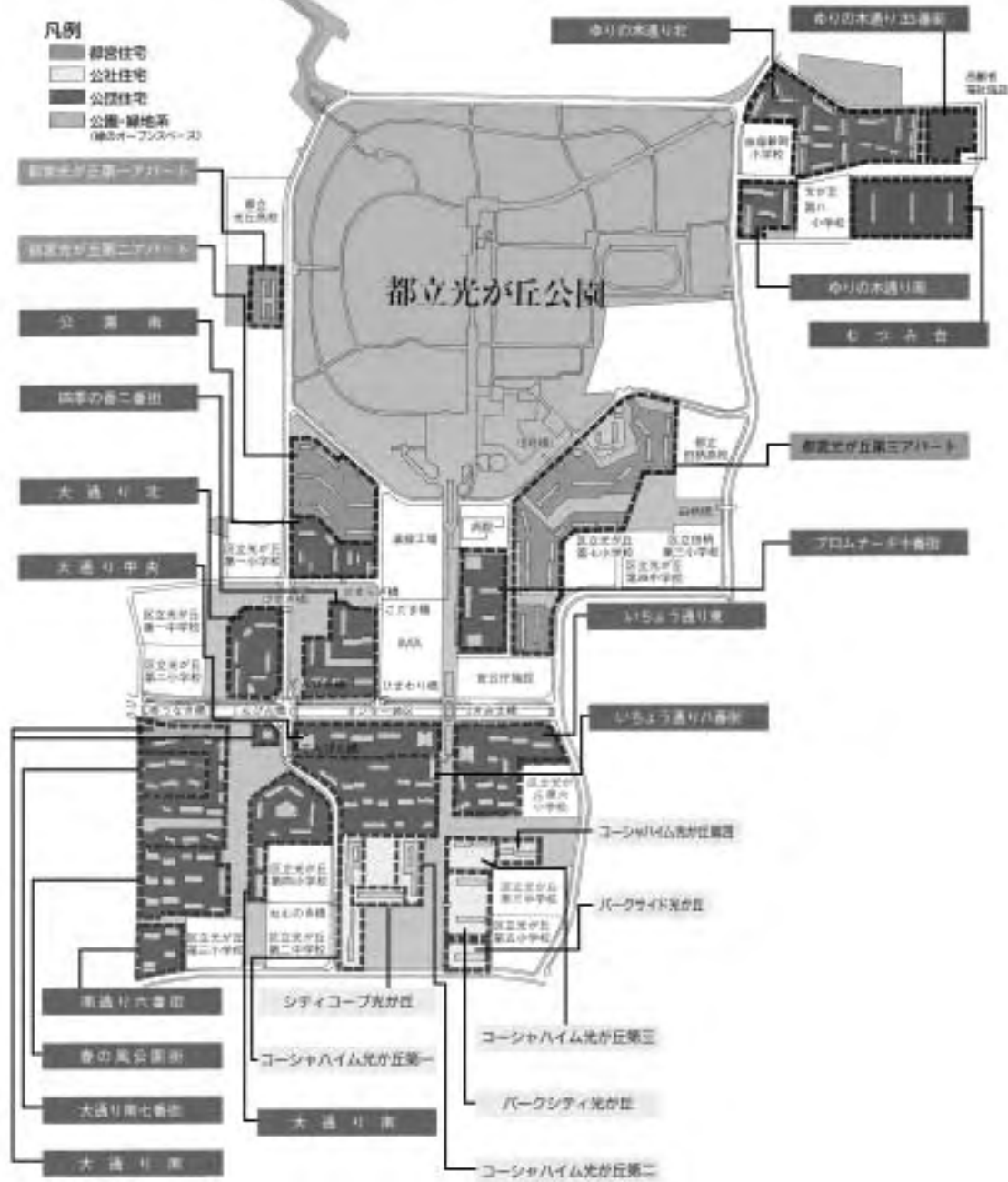
私は光が丘に移り住んで3年になるうとしています。この団地で生活を始めて気がついたことは、光が丘は銀杏の木々に囲まれている通り、子供たちが遊び回ったり野鳥が観測できる自然公園をはじめ、スポーツ施設や文化施設が充実し、各種イベントやフリーマーケットなども盛りだくさん。子供から大人まで楽しめる素敵な地域だということです。

この素敵な町も、早20年になるうとしています。私は住まいがその人の生活の場であり、いわゆる故郷として考え

て良いのでは?と考える一人です。子供も成長するところから巣立っていきますが、やはり若いときに育った場所が彼らの故郷であり、私たちはこの地域を大事にし、この地に育った人たちの故郷として存在し続けることを目指して環境整備をしていくことが、大人たちの役割かなと思っています。

光が丘で育った子供たちには、ここでの貴重な体験を胸に納め、豊かな自然と同じようにお互いを認め、共存共栄できるような人間になってもらいたいと思っています。

光が丘街路図



光が丘の人口推移

※注 板橋区赤塚新町ゆりの木通り北住宅を含む

● 光連協とは？

光連協とは、1986年に光が丘地区に設立された「光が丘地区住民組織連絡協議会」という任意団体の略称です。「光が丘の歴史と光連協の生い立ち」(7～12ページ)も併せてご覧ください。

現在、光連協には光が丘のすべての自治会と管理組合が参加しており、組織の目的とするところは、これら参加団体の連携を密にし、居住環境に関する情報の共有と文化の向上を図り、光が丘の豊かで住みよいまちと次世代へのふるさとづくりに貢献することです。

具体的には、

構成団体に共通する次の事項について、行政機関や建3社等の関連機関へ折衝や要望等を行います。

- ・ 交通、防犯、防災等の住民の安全
- ・ 公共公益施設の整備及びその運営
- ・ 住民に関係する便益サービスの向上
- ・ その他、居住環境の保全向上

住民の交流・親睦に関すること。

駐輪マナー・ごみ分別・防災対策等、住民への啓蒙活動に関すること。

「光連協20年のあゆみ」編集委員

委員長	山影 信雄	(元光連協会長)
委員	辻 弘	(元光連協会長)
同	竹谷 恭子	(元光連協会長)
同	矢沢 吉人	(前光連協会長)
同	松澤 慧	(元光連協副会長)
同	宇佐見 純一	(現光連協役員)
同	清水 きよ糸	(現光連協役員)
同	手塚 俊雄	(現光連協副会長兼事務局長)
同	千葉 美津好	(会長推薦特別委員)
同	高橋 司郎	(現光連協会長)

● 構成団体一覧

名 称	地 区
むつみ台自治会	光が丘1丁目
ゆりの木通り南住宅管理組合	光が丘1丁目
光が丘第三アパート自治会	光が丘2丁目
プロムナード十番街自治会	光が丘2丁目
シティーコープ光が丘管理組合	光が丘3丁目
コーシャハイム光が丘第一自治会	光が丘3丁目
コーシャハイム光が丘第二自治会	光が丘3丁目
コーシャハイム光が丘第三自治会	光が丘3丁目
コーシャハイム光が丘第四自治会	光が丘3丁目
いちよう通り八番街団地管理組合	光が丘3丁目
いちよう通り八番街自治会	光が丘3丁目
パークサイド光が丘管理組合	光が丘3丁目
パークシティ光が丘管理組合	光が丘3丁目
いちよう通り東第一団地管理組合	光が丘3丁目
いちよう通り東第二団地管理組合	光が丘3丁目
いちよう通り東第三団地管理組合	光が丘3丁目
いちよう通り東第三団地自治会	光が丘3丁目
大通り中央1号棟自治会	光が丘3丁目
大通り中央2号棟自治会	光が丘3丁目
大通り中央3号棟自治会	光が丘3丁目
公園南住宅管理組合	光が丘5丁目
公園南住宅自治会	光が丘5丁目
光が丘第二自治会	光が丘5丁目
四季の香式番街団地管理組合	光が丘5丁目
四季の香式番街自治会	光が丘5丁目
四季の香式番街4・5号棟自治会	光が丘5丁目
大通り北団地管理組合	光が丘6丁目
大通り南団地管理組合	光が丘7丁目
大通り南七番街団地管理組合	光が丘7丁目
春の風公園街団地管理組合	光が丘7丁目
南通り六番街団地管理組合	光が丘7丁目
光が丘7-8-1団地自治会	光が丘7丁目
光が丘第一自治会	旭町1丁目
ゆりの木通り北住宅管理組合	赤塚新町
ゆりの木通り北自治会	赤塚新町

● 光連協のホームページ

検索エンジンのGoogleで「光連協のホームページ」と入力して検索することもできます。

光連協の活動をご理解いただくとともに、住民の皆様への様々な情報提供と光が丘地区のコミュニティーづくりを目指し、2004年にホームページを立ち上げました。ぜひアクセスしてみてください。

URL: <http://hi.matrix.jp/1/korenkyo/>



発行日 2006年1月
発行元 光が丘地区住民組織連絡協議会